



宇宙やロケットの魅力と可能性を探る

宇宙シンポジウムin串本

8月25日、串本町文化センターで「宇宙シンポジウムin串本」が開催されました。

このシンポジウムは、スペースワン株式会社の小型ロケット発射場が田原地区に建設されることを受け、宇宙産業の魅力と可能性を広く知ってもらうために和歌山県と串本町が開催。関係者を含め、町内外から約600名が来場し、会場はほぼ満席となりました。冒頭のあいさつで仁坂吉伸和歌山県知事は、今後はこの地域に多くの技術者が常駐し、観光客が訪れるようになる」と説明。地域でどのように関わっていくかが重要になると語りました。

シンポジウムの基調講演では、超小型衛星の分野を開拓した第一人者である東京大学大学院工学系研究科の中須賀真一教授、人工流れ星によるエンターテイメント事業を展開する株式会社A・L・Eの岡島礼奈代表取締役社長、スペースワン株式会社の太田信一郎代表取締役社長の3名が講演。中須賀教授は、人工衛星やロケット、宇宙産業の規模などについて説明し、人工衛星が小型化したことで様々

令和元年8月豪雨災害義援金の受付について

令和元年8月の前線に伴う大雨災害により、佐賀県に大きな被害が出ました。この災害で被災された方々を支援するため、次のとおり義援金を受け付けます。お寄せいただいた義援金は、「日本赤十字社」を通じ、全額を被災地へお届けします。皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

- 募金箱設置期間  
令和2年2月26日（水）まで
- 募金箱設置場所
  - ・串本町役場本庁舎 1階窓口
  - ・串本町役場古座分庁舎 1階窓口
  - ・串本町文化センター 窓口
  - ・トルコ記念館内



◇お問い合わせ先◇ 串本町役場 総務課 TEL 0735-62-0555



主な電話番号等 市外局番 0735

串本町役場本庁舎	62-0555
串本町役場古座分庁舎	72-0081
くしもと町立病院	62-7111
串本町教育委員会	72-0017
文化センター	62-0006
串本町図書館	62-4653
保健センター	62-6206
地域包括支援センター	62-6005

防災行政無線（町内）放送の  
電話音声案内サービス  
0120-928-649（無料）

October. 2019 No.174  
Contents  
もくじ

- 2 令和元年8月豪雨災害義援金／コンテンツ
- 3 まちのわだい
- 7 令和元年第3回定例会
- 10 町営住宅入居者募集のお知らせ  
プレミアム付商品券事業参加店舗について  
不法投棄監視カメラ設置中！
- 12 幼児教育・保育の無償化がスタートします  
和歌山県最低賃金が改定されました  
スマホ等アプリによる税や料金の納付について  
10月1日は「浄化槽の日」です
- 14 確定申告のお願い／橋杭岩ライトアップ  
自動通話録音機の無料貸与／消費者行政
- 16 国保健全財政の維持に向けて（第56回）  
行政なんでも相談所を開設します
- 18 レディース外来／特別食を食べに来ませんか？  
電車を利用しましょう！／自衛官候補生等募集
- 20 犬・猫の飼い方講習会・譲渡会  
よろこび・かなしみ／献血にご協力ください  
関西電力からのお知らせ
- 22 保健センターだより
- 25 火災・救急件数／人口と世帯／募集／お知らせ  
相談／納税／町民の皆さまへ



①多くの方が来場したシンポジウムの様子 ②意見を交わす5名のパネリスト ③中須賀教授 ④岡島代表取締役社長 ⑤太田代表取締役社長

なビジネスができており、望む時期に望む軌道へ小型衛星を運ぶことができる小型ロケットの需要が高まっていると話しました。

岡島代表取締役社長は、いずれ宇宙は旅行する場所や住む場所になると宇宙開発利用の可能性を示し、宇宙に目を向けることが地球の環境を考えるきっかけとなり、我々の身近な生活を豊かにすることにもつながると語りました。

最後に太田代表取締役社長が、同社の宇宙輸送サービスの事業構想や今後の展開を説明。「地元を根を下ろし、地域の活性化とさらなる発展の一翼を担うことができよう努力します」と述べ、地元への理解と支援が必要不可欠であるとして、支援を呼びかけました。

講演後は「宇宙開発利用の将来の展望とロケットが和歌山にもたやすもの」がテーマのパネルディスカッションがあり、基調講演の講師3名と公益財団法人日本宇宙少年団の遠藤守専務理事、発射場誘致に関わった経済産業省の佐久秀弥氏（前・県産業技術政策課長）、田嶋町長がパネリストとして参加。ロケットの仕組みや安全性、宇宙産業における日本と他国との違い、小型ロケットへの期待などについて意見交換がされました。

田嶋町長は、この千載一遇のチャンスを地域経済や子どもたちの教育につなげることが我々の仕事だと述べ、地元の方々に迷惑をかけないよう交通整備なども十分に考えていきたいと話しました。